



子どもたちはこいのぼりが大好きです。園庭にこいのぼりがあがると小さい子ども大きい子どもみんなが目を輝かせ、それぞれに指をさしたり・歓声をあげたり・山に上がって近くで見ようしたり・歌をうたったりしています。先月の終わりにたいようぐみさんはたけのこ掘りに行ったのですが、道路から見る保育園のこいのぼりを見て、車の中で♪屋根より高い〜と大合唱がはじまりました。(道路から見るこいのぼりは、保育園の瓦屋根に映え、歌のとおりでした)また子どもだけではなく、この道を通る方からも「こいのぼりの下で子どもたちが遊んでいるのを見ると元気が出ます」「(お昼寝中かな?)子どもたちがいない庭で泳いでいるこいのぼりも素敵です」などと言っていましたよ。

今は、飛び石連休真っ只中です。子どもたちにとっては家族と一緒に過ごすお休みは、とても嬉しいことでしょうね。連休後、子どもたちがどんな姿を見せてくれるのか、どんな話をしてくれるのか楽しみです。

5月の予定



1日(水)・2日(木)

絵本貸出日(ほし・そら)

8日(水) ほしぐみ個人面談はじまり

9日(木)・10日(金)

絵本貸出日(にじ・つき)

10日(金) ひかりクリーンデイ

13日(月) 身体測定の日

14日(火) お弁当の日

15日(水) 英語・ひだまり広場

20日(月)

誕生会

21日(火) つきぐみ個人面談はじまり

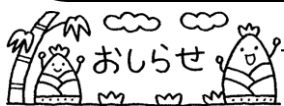
22日(水) 剣道

23日(木)・24日(金)

絵本貸出日(たいよう・つき)

24日(金) 集金日

27日(月) 避難訓練



お知らせ 保護者会の時(4月20日)にお休みの方もいらっしゃいましたので、資料に書いてない(口頭でお話したこと)をお伝えします。資料については、保護者参加行事や土曜保育の有無等も記してありますので、よくお読みください。

○**集金袋の渡し方について**…集金袋は、8:30~17:30は事務所(陰山事務員)に手渡ししてください。それ以外の時間は早番・遅番など、職員に直接渡しをお願いします。

○**子どもの服について**…大きいもの・小さいものは動きにくかったり着替えにくかったりします。体のサイズに合ったものを着ましょう。

○**保健について**…A3サイズのおたよりを保護者会の時に配付しています。よく読んでおいてください。

○**水筒**…そら・にじ・しずく組はお弁当の日(土曜保育時)のお茶は保育園で準備します。用意してもらう時は、早めにお知らせいたします。

○**弁当の日のデザートについて**…持って来られる場合は、果物をお願いいたします。

○**3歳以上児のハンカチについて**…ポケットに入れます。ポケットがない方はご相談ください。

気持ちのいい耳掃除のコツ ~子育てハッピーアドバイスより~

Q耳掃除を嫌がって、したがりません。耳あかがたまりすぎて、病気になるようなことはありませんか。

✿家で耳掃除をするときのポイント

耳あかは、基本的に外に押し出されるようにできていますし、むしろ、耳かきで頻繁にいじると、傷ができてしまい、感染の原因にもなります。また、お風呂上りに綿棒を使うと、特に耳の穴が小さい時には、ぬれた耳あかをどんどん奥へ押し込んでしまっ、耳栓のようになることがあります。耳あかは、耳の穴の入り口から半分までの場所でできます。ということは、奥の半分は掃除する必要がないのです。子どもの耳を見て、お母さんの見える範囲に耳あかがあれば、細い綿棒を使って払い出してください。「もっと奥はいいの?」と思われるかもしれませんが、見えない奥の方を、無理にのぞき込んで穴掘りをする必要はないのです。といっても、小さな耳の掃除は難しいものです。なかなか取れない場合や、固い耳あかが詰まっているとき、また、耳だれがでてきた時は、無理せず受診をしてください。

保護者会総会での講演会

先月の保護者会総会には、たくさんの保護者の方にお集まりいただきありがとうございました。島津先生による講演会“0歳からの妊活”では、子どもたちの問題や大人も含めたみんなの健康は「全てがつながっている」と聞き、なるほど!と納得しました。大人の私たちは忙しく日々を送りながらも自分の心と体に向きあうことが大切なんですね。「自分って今何を感じたの?」「我慢ばかりでいいの?」「私って案外すごいかも!」など、自分と会話して頑張っている自分を励ますことも大切です。また、子どもへの言葉がけの意識を少し変えるだけで子どもは自信をもって生活できるようになります。公共のルールを破ろうとした子に「ダメなものはダメ」と制止していませんか。「7歳から遊べます!」と張り紙がしてある遊具に5歳の子が「遊びたい!」と言い出し聞かないとします。「ダメなものはダメよ。わがまま言わないで」とつき離していませんか。これでは共感ゼロ。子どもは不満がたまります。このような場合は「面白そうだね、あそびたいね」と共感しましょう。最後に、「でも7歳からだって。もう少し大きくなってから遊べるよ」と伝えます。(「イエス、イエス、バット」の法則)こんなことを言っても「イヤだ!遊びたいもん」と子どもも譲らないかもしれませんが、子どもは大人の言葉をちゃんと聞いています。どんな言葉をかけられたかによって自己肯定感も左右されます。「健康な命を繋ぐために」自分も子どもも認めていきたいです。

(園長 筆)